

THROTTLE CONTROLLER

Performance & Technology



INSTALLATION MANUAL

BLITZ

－安全上のご注意－

製品を安全にご使用いただくために『安全上のご注意』を良くお読みになってください。

表示項目の説明（シグナルワードとその意味！）



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

□必ずお読みになり、よくご理解ください。

- ・本製品は純正の電子制御スロットルの信号を制御し実際に運転者がアクセルを踏み込んだ以上にスロットルを開ける事で体感的なパワーやスタートダッシュの軽快感などが得られますが実際の最大出力が向上するものではありません。また、体感的な部分には個人差がありますことをご了承ください。
- ・この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載しております。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。

換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。

- ・本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けないでください。

運転に支障をきたし、事故の原因になります。

- ・本製品は、車両電源がDC12V車で車体（ボディ）アースの車両専用です。

DC24V又は12V・24V兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。

- ・コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。

ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。また、製品の故障の原因となります。

- ・本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。

そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。

- ・運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。

事故の原因となる恐れがあり大変危険です。

- ・本製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。

ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。

使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行ってください。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

・本製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。

取り付けには専門の知識と技術が必要です。間違った装着や使用方法により車両装備品及びエンジン破損につながる恐れがあります。

・本製品は精密部品です。装着前に落下させたり装着時に無理な力を加えないでください。

作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。

・本製品を長時間高温になる場所に放置しないでください。

60°C以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では内部回路が破壊される事があります。

・本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。

事故・火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。

加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせていただきます。

・高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。

感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。

・エンジルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。

エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。

・定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。

この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。

・取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。

当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。

・ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。

必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

・本製品は純正車両を前提に企画されております。

純正以外のパーツを取り付けている場合は、本製品が正常に作動しなかったり、本製品および車両に不具合が発生する可能性があります。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

・運転者は走行中における本製品の操作はしないでください。

運転中の表示の注視やスイッチ操作は事故に繋がる可能性があるので大変危険です。

・コントローラーや本体の装着場所は運転の妨げにならない場所へ、しっかりと固定してください。

アクセルセンサー付近の配線処理などは注意を怠りますと、突然のエンジン不調やアクセル操作の邪魔になるなど大変危険です。

・本製品は純正電子スロットルの制御を目的に製作されていますので配線の接続方法ならびに使用方法を間違えると車両側の不調・破損・事故など致命的な問題が発生する恐れがあります。

接続取り付けに関しては必ず専門の業者にて行うようにお願いします。ご自身で取り付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業をしてください。

・走行中に車両及び製品より異音・振動・異臭等の異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して専門業者にて点検・整備を行ってください。

修理等に関してはお客様ご自身で対処すると、怪我などの恐れがあり大変危険です。必ずプロの知識を持った専門業者へ依頼をしてください。

・本製品の装着により製品、及び車両本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。

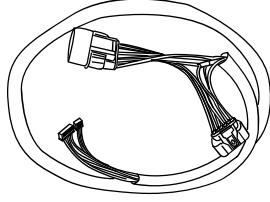
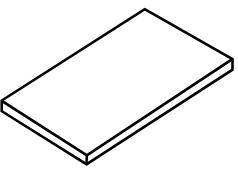
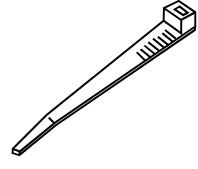
そのままの状態で走行を続けると、予期せぬトラブルを誘発するばかりではなく、事故を招く可能性があります。

・本製品の分解や改造は一切行わないでください。

車両破損・事故につながるだけでなく生命の危機に陥る恐れもあり危険です。また、そのような場合でも弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。

パーツリスト

(製品装着前に必ずご確認ください)

			
コントローラー 1	本体ユニット 1	センサーharness 1	取扱説明書・保証書 各 1
			
本体ユニット用両面テープ 2	タイラップ 4		

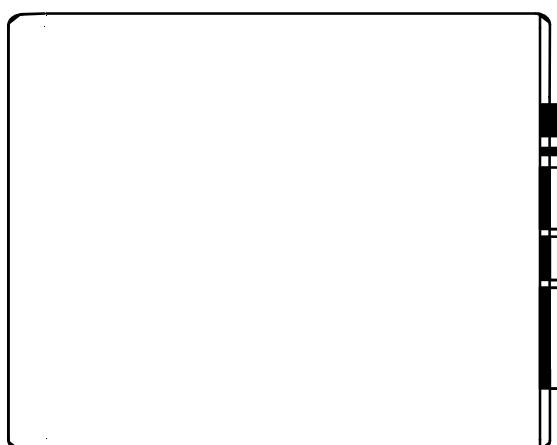
— 各部の名称と機能 —

コントローラー :

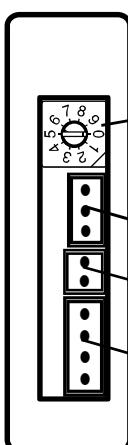


POWERボタン

本体ユニット :



ピンク線



ー取り付け手順と方法ー

■取り付け上のご注意

※本製品はDC12V車両専用です。DC24V車や12V仕様車以外の車両には取り付けを行わないでください。火災や車両破損の原因となり大変危険です。

※アクセルコネクターの取り外し作業はイグニッションキーをOFFしてから15分以上経過してから行ってください。

※従来品の専用センサーハーネスは仕様が異なる場合がありますので、必ず同梱されている物をご使用ください。

※電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には十分注意し慎重に作業をおこなってください。

※接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てきます。

この場合専用機器しかエンジンチェックの点灯を消せないことがあります。十分注意して作業をおこなってください。

※取り付け作業の際は必ずキースイッチを抜いて15分以上は作業を行わないでください。

またスマートエントリーシステムなどの場合はキーを認識しない場所に離して作業してください。

車両側がキーの存在を認識して自動的に電源が入り、そのまま作業をしてセンサーコネクターを抜くと車両故障とみなされエラー信号が入り、エンジンがフェールセーフモードに入ってしまう恐れがあります。

※車両によっては専用の故障診断機を使用しなければエラーコードが解除されない場合がありますので十分注意してください。

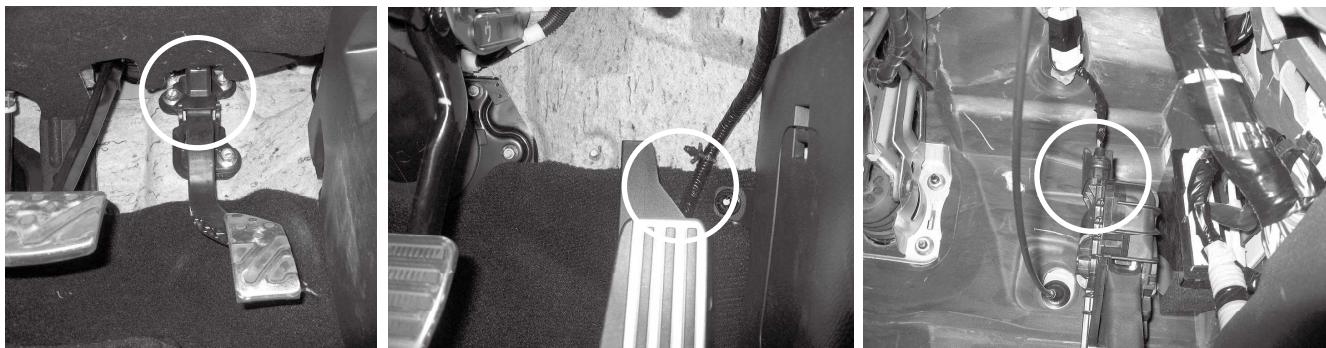


この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

- ・取り付け作業は基本的にバッテリーを外さずに行ってください。バッテリーを外した場合にアイドリング学習などが必要になる場合があります。
- ・本作業は精密電子部品である電子制御スロットルの制御にかかる部分です。接続位置や接触、逆挿し、接触不良等には十分注意し慎重に行ってください。
- ・接触不良や間違った接続をした場合、正常にエンジンが吹け上がらない、エンジンチェックランプの点灯などの症状が発生します。この場合も前述同様専用の故障診断機を使用しなければ消灯させることができない場合がありますので十分注意し、よく理解した上で作業を行ってください。

(1) 運転席足元アクセルポジションセンサー位置

アクセルポジションセンサーは通常アクセルペダルの根元付近にあります。（一部車種除く）カバーの裏などで隠れていて直接目視できない場合がありますので注意して探してください。



上記の白丸部がセンサーです。同梱のハーネスに付いているコネクターの形状と見比べて形状が違う場合は装着できません。形状が異なっているにも関わらず無理に装着しないでください。



【注意】品番14758：TRC001L-BF2を装着される場合の注意点

品番14758に適合する車両は、エンジルーム内にアクセルポジションセンサーがあり、左図のようにマスター・バック付近に固定されています。室内からエンジルームセンサーまではワイヤーで繋がっており、この部分にBF2センサハーネスを接続し、サービスホールを使用して室内へハーネスを引き込み、本体ユニットへ接続してください。

(2) アクセルセンサーコネクター取り外し

初めてコネクターを脱着する場合非常に固く外れない場合があります。ドライヤーなどで適度に温め、やわらかくしてから外してください。工具などで無理に外そうとすると破損する恐れがありますのでお止めください。

(3) 専用センサーコネクター装着

BA1タイプのコネクター以外は次のように行ってください。

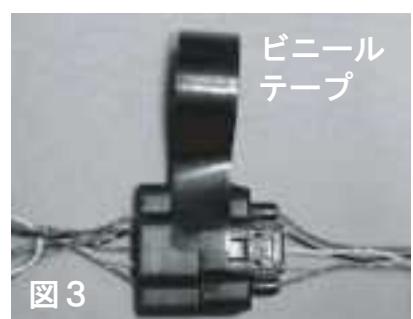
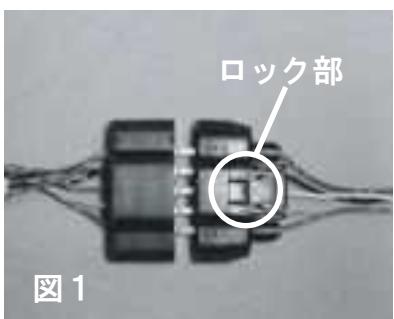
センサー側、車両側、それぞれコネクターを装着してください。

※ゴム製のコネクターは表裏の違いに注意してください。（図1、図2参照）

赤いコーチンステッカーの貼ってある面と車両側コネクターのロック部分（ツメ）を合わせて装着してください。

※ゴム製のコネクターにはロックがありません。必ず**図3**のように絶縁性のビニールテープ等でテーピングして固定してください。

※コネクターの表裏を間違えて装着するとセンサー破損や本体ユニット破損、エンジンチェックランプ点灯など様々な不具合が起こる恐れがあります。必ずコーチンステッカーの面に注意して間違の無いように作業を行ってください。



BA1タイプのコネクターは次の①～④の内容に注意して下さい。

①車両側のコネクターの防水ゴムを必ず外してから装着してください。（図4、図5）

外さないまま装着した場合、接触不良もしくはエンジン警告灯が点灯します。

②BA1タイプのコネクターは特殊形状の為に表裏が判別しにくいです。

その為コネクターに貼ってある赤いコーチンシールを目安にして確実に装着してください。
前述同様ロック部を合わせます。

③BA1タイプのコネクターは特殊形状の為にロック部分が完全に勘合しません。（図6）

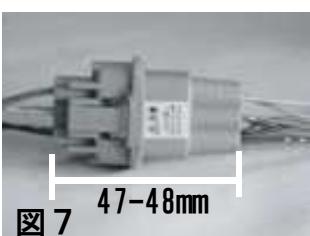
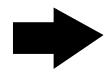
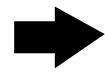
④BA1コネクターを装着した場合の寸法はおおよそ47mm～48mmになります。（図7）

※装着後必ずビニールテープ等で固定してください。（図8）

※コネクターの表裏を間違えて装着するとセンサー破損や本体ユニット破損、エンジンチェックランプ点灯など様々な不具合が起こる恐れがあります。

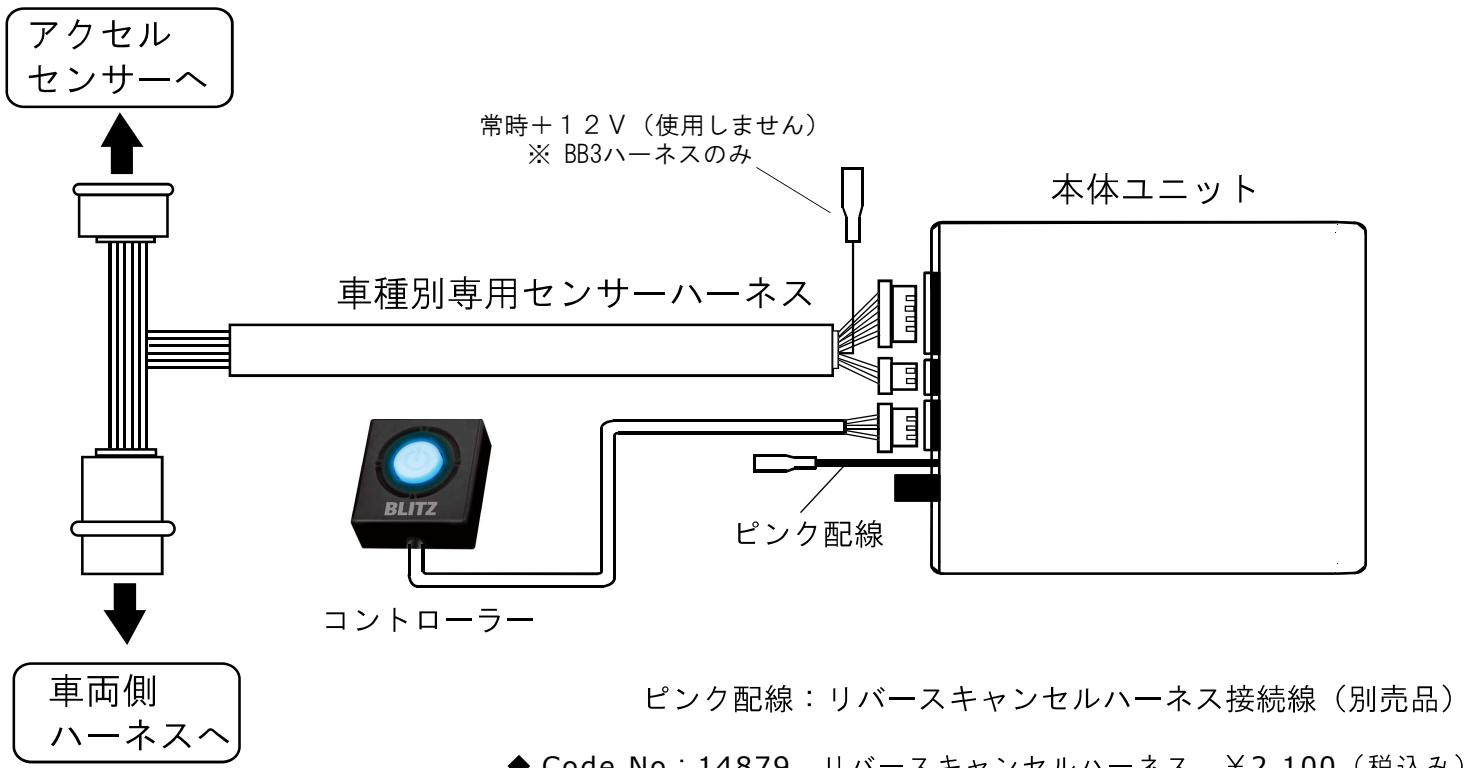
必ずコーチンステッカーの面に注意して間違の無いように作業を行ってください。

※BP1コネクターは下側の穴にピンをさしてください。（図9）



(4) 本体ユニット、コントローラーの装着

【接続図】



- ①専用ハーネスの2極と4極コネクターを本体ユニットへ確実に差し込んでください。
- ②コントローラーからの3極コネクターを本体ユニットに確実に差し込んでください。
- ③本体ユニットより出ているピンク配線はリバースキャンセル、及びON/OFFスタート設定用の配線です。
*この設定を利用するには別売のリバースキャンセルハーネス (Code No : 14879) が必要です。
- ④運転の操作の妨げにならぬよう、本体ユニットを固定し配線をまとめてください。
*本体は水、熱のかからない場所に固定してください。
*BB3の車種別専用ハーネスには【常時+12V】が取り出せる配線がありますが、本製品には使用しません。
ボディ等に接触すると危険ですので、ビニールテープ等で保護してください。
*作動確認用のブザーが本体ユニット内に装備されていますので、なるべく運転者に近い場所に固定してください。

(5) 初期設定／初めて車両に装着、もしくは装着車両を変更する場合

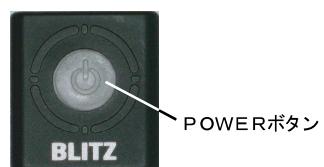
注意！ 作業終了後、下記要領にて本製品を使用する前に必ず初期設定を行ってください。
初期設定を行わない状態で本製品を使用した場合、車両ECUがエラー認識をしてしまう場合があります。
正確な操作にて必ず初期設定を行ってください。

注意！ 初期設定は絶対にエンジンを始動させていない状態で行ってください。
注意！ 初期設定がきちんと認識されない場合は、エラー音とともにLEDが【点滅】を繰り返します。
この状態の場合は初期設定を再度行ってください。

注意！ アクセルペダルと配線、本体ユニット等が接触する状態は大変危険です。
配線等は必ず操作の妨げにならない場所に、しっかりとまとめて固定してください。

注意！ エンジン停止後15分以上経過してから作業を開始してください。
エンジンチェック点灯の原因となる場合があります。

- ①POWERボタンを押し続けた状態でIGキーをONにしてください。
*必ず本体を取り付けした直後に行ってください。
- ②そのままPOWERボタンを押し続ける(5秒以上)と、初期設定モードになります。
*POWERボタンのLEDが【点灯】から【点滅】に変わります。
- ③15秒以内にアクセル操作で、アクセル全閉と全開を連続で2回以上繰り返してください。
*この操作で、アクセル信号の0~100%の電圧値が入力されます。
*アクセルペダルを踏み損じた可能性のある場合は、エラー音とともにLEDが【点灯】ではなく【点滅】を繰り返します。この場合②、③の操作をやり直してください。
- ④15秒間の初期設定モードが正常に終わると、LEDが【点滅】から【点灯】になります。

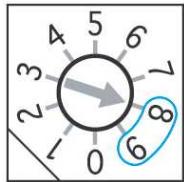


(6) 各種モード説明

モードの切り替えは本体ユニット側面のロータリースイッチで行います。

「AUTO」モード

(2モード)



* 走行状態により 7 段階の比率を、マイコン制御により自動的に選択します。

渋滞時から高速走行時まで、さまざまなシチュエーションにおいて常に最適なモードを、この「THROTTLE CONTROLLER FULL AUTO LIGHT」が自動判別し快適な制御を行います。

他のモードから AUTO モードに変更した場合は、その時点での最適な状態からスタートとなります。

ダイヤル【8】

「MAP 1」が低比率。加速するにつれてアクセルが一定でも徐々に加速していきます。

低速時や後退時の急激な挙動を抑え、いちいち切り替える必要もなく、快適でスムーズなドライブが可能です。

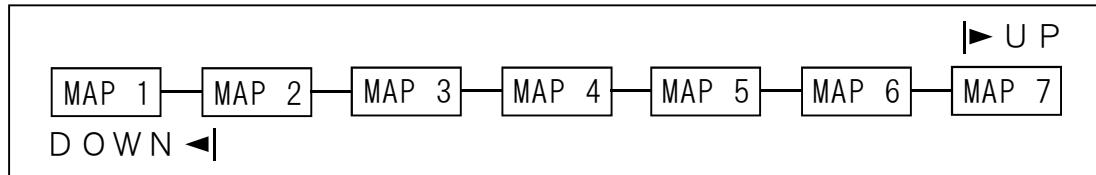
ダイヤル【9】

「MAP 1」が高比率。加速するにつれてアクセルが一定でも徐々に比率がダウンしていきます。

車速が乗った状態や、あまりパワーを必要としない領域での無駄なアクセル操作を抑制することで燃費の向上も望めます。

比較的にパワーのある大排気量車に最適です。

・オートモードイメージ



※ AUTO モード中はスロットル開度をマイコンで判別しているため、アクセル操作により常時段階が変化します。

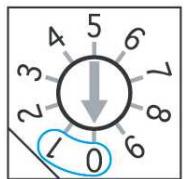
この時にコントローラーの LED が点滅しますので、段階が変化した時の目安になります。

- ・比率 DOWN 方向 ⇒ 2 回点滅
- ・比率 UP 方向 ⇒ 1 回点滅

※ AUTO モードの状態でエンジンをかけた場合は、「MAP 3」からスタートとなります。

「ECO」モード

(2モード)



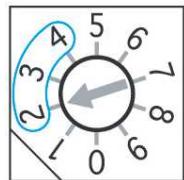
* 純正よりも緩やかな出力曲線を描く、燃費重視のセッティングです。

2 モードでエコランを実現します。

ダイヤル【0】が AUTO モードを除く 8 モードの中で、もっともエコな低比率となります。

「MILD」モード

(3モード)



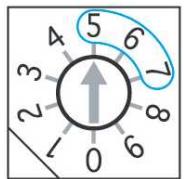
* 段つきのないスムーズな加速を目指した通常走行向きのノーマル+α のセッティングです。

3 モードを用意し、きめ細かいコントロールが選択できます。

ダイヤル【2】が 3 モードの中で、もっとも低比率となります。

「SPORT」モード

(3モード)



* アクセルレスポンスの向上に特化した、もっとも過激なモードです。

純正のような緩慢な反応ではなく、入力に対してリニアな加速を実現します。

ダイヤル【7】が AUTO モードを除く 8 モードの中で、もっとも過激な高比率となります。

(6) 各種モード説明

◎リバースキャンセルモードについて

*別売のリバースキャンセルハーネス (Code No : 14879) を装着することにより、リバース時に本製品作動を自動的にキャンセルすることと、スタート時のON/OFF設定の変更が可能となります。

リバース状態での困難な車庫入れ等の場合でも、自動的にノーマル制御となりますので、より便利で安全です。

◆ Code No : 14879 リバースキャンセルハーネス ¥2,100 (税込み)

◎ON/OFFスタート設定について

*本製品出荷時はセーフティー機能の一環として、使用中にIG-OFFにした場合、必ずノーマルモードになるよう設定されています。例えばいずれかのモードで走行後、IG-OFFにした後に再度エンジンをかけた場合には、LEDは消灯状態でノーマルモード（純正状態）となっています。

これを任意で常時ロータリースイッチで設定したモードで起動させることができます。

※この設定を利用するには別売のリバースキャンセルハーネス (Code No : 14879) が必要です。

- ①別売のリバースキャンセル用の桃色線を接続してください。
- ②IGキーをON状態で、リバースギヤにシフトしてください。（エンジンは始動しない状態で行ってください）
- ③上記の状態でPOWERスイッチを5秒以上長押ししてください。
5秒後に『ピー』音と共にスタート時の機能が変更されます。
- ④もとのOFFスタートに戻す際は、②・③の作業を繰り返し行ってください。
この作業を繰り返す度にONスタート/OFFスタートの設定が変更になります。

※エンジンを停止後、15分間以内に再始動させた場合は、OFF設定にしていてもON状態よりスタートする車両が一部ありますが、これは車両の制御方式の違いによるもので異常ではありません。



ON/OFF設定は本製品概要をご理解いただいているご本人以外の方が使用することは非常に危険です。
ご本人以外が運転する場合は必ずOFFスタートに設定してください。

(7) トラブルシューティング



フェールセーフモードに入りエンジンが吹け上がらない状態になった場合は非常に危険です。
速やかに車両を安全な場所に停車しエンジンを停止し5分ほど経ってから再度エンジンを始動させてください。

【アイドリング不調】

※初期設定不良の可能性があります。初期設定を再度行ってください。

※取り付け作業時にバッテリーを外した場合はアイドリング学習が必要な場合があります。

販売店もしくはカーディーラーへご相談願います。

【エンジンOFFでもしばらくLED表示が消えない】

※エンジンを切っても暫くはコントローラーのLED表示が消えない場合がありますが、センサーへ微量な電流が流れているため異常ではありません。

15分以上表示が消灯しない場合はお手数ですが販売店もしくは弊社サポートセンターまでご連絡ください。

※一部車種ではドアロック解除などのアクションで、表示が点灯する場合がありますが異常ではありません。

【エンジンチェックランプ点灯、エンジン不調】

※コネクターの接触不良、配線間違い、コネクター挿入方向の間違いなどご確認ください。

※エンジンルームにもアクセルセンサーと同形状のコネクターがあります。

エンジンルーム内のコネクターに接続した場合、正常に動作しません。車内のアクセルセンサーのコネクターへ接続してください。(TRC001L-BF2はエンジンルーム接続ですのでこの限りではありません。)

※本製品を最初に装着する時、または装着車両を変更した時は必ず初期設定を行ってください。

この際にアクセルペダルを踏み損じた可能性のある場合は、エラー音とともにLEDが【点灯】ではなく【点滅】を繰り返します。

※万が一エンジン不調等の症状が出て、POWERスイッチをOFFにしても正常にならない場合は、アクセルセンサーのカプラー部分をノーマルに戻してください。

※本体及びハーネスへ、ノイズの発生する部品を近づけないで下さい。

(例. 無線機、オーディオアンプ、イグニッションコイル系部品、他)

【作業中のミスなどでエンジンチェックランプ点灯】

※キースイッチを抜いてから、完全に電源が切れる前に作業を行っている可能性があります。15分以上待って作業してください。

※コネクターを逆挿している可能性がありますので再度ご確認ください。

※ディーラー等専用の故障診断機のある工場にてチェックランプ及びダイアグの履歴を消去してください。

※スズキ車の一部などはバッテリー端子を30秒ほど外すことでチェックランプを消す事ができる車両もあります。

※正常な状態で走行し、エンジンの停止を数回行うと自動的に消灯する場合もありますが、ダイアグの履歴は残っています。

(8) 走行する前に再度お読みください。

※A T車の場合には高速走行中にキックダウンしにくい、もしくはシフトポイントが変わる場合があります。

これはアクセルを踏んでない状況でも擬似的に踏んでいる状態をつくるためです。

故障ではありませんのでご了承ください。

※ターボチャージャーなどの過給機付き車両の場合、ブースト特性が変わります。

特にブーストアップやタービンの変更などを行っている場合は、ブーストの再調整が必要になる場合があります。

※POWERボタンの長押しは初期設定モードとなりますので、走行中には絶対にこの動作を行わないでください。

誤って操作してしまった場合でもセーフティ回路により走行は可能ですが、その際は安全な場所に車両を停車させ再度初期設定を行ってください。

※キーをOFFにしてもコントローラーのLED表示がしばらく残る車両がありますが異常ではありません。

このLED表示が残っている状態でイグニッションキーを再度ONにした場合は、「ON/OFFスタート設定」をOFFに置いてもモードがONのままとなり、ロータリースイッチで設定されているモードでのスタートとなります。

■製品についてのお問い合わせ

連絡先	株式会社 ブリッツ サポートセンター
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6
TEL	0422-60-2277
FAX	0422-60-0066
URL	http://www.blitz.co.jp

■発売元

発売元	株式会社 ブリッツ
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6
取扱説明書番号	1475006
初版作製年月日	2010年2月12日

この度はブリッツ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

BLITZ商品をお買い上げいただいたお客様からの情報を今後の製品開発などへフィードバックさせていただき弊社から商品に関する最新情報や、限定情報などをご案内させていただくための「カスタマー登録」が可能です。

BLITZ POWER SITEよりオンライン上で簡単に登録が可能ですのでぜひご登録をお勧めいたします。

カスタマー登録をされていない場合、製品によっては保証期間内であっても保証規定内容が無効になる場合がございますのでご注意下さい。

尚、製品に付属している「保証書」は、カスタマー登録の有無に関わらず、製品の検査・修理などのご依頼の際に必ず必要となります。

製品の取扱説明書と共に、大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

カスタマー登録後も、製品の保証につきましては、別途製品に付属する「保証書」が必要となりますのでご注意下さい。

カスタマー登録のメリット

- モニター販売や最新の製品情報、バージョンアップのご案内を優先的にさせていただく予定です。
- 登録情報に基づいて、製品の各種保証やサポートをご利用いただけます。